

(株) えふえむ草津 第84回 番組審議会議事録

1. 開催年月日 令和7年11月25日(火) 18時30分 ~ 19時30分

2. 開催場所 市民総合交流センター キラリエ草津 203会議室
(滋賀県草津市大路二丁目1番35号)

3. 委員の出欠 委員総数 5名 出席委員 4名 欠席委員 1名

(出席委員) 森 健蔵 松田 泰子 権田 五雄 山本 一成

(欠席委員) 岡本 直輝

(えふえむ草津側出席者) 木村 博 (代表取締役社長)
中辻 睦規 (事務局)

4. 議 題

(1) 近況報告

(2) 番組「昭和歌謡 大全集」について

(3) 訂正または取消し放送の実施状況

(4) その他



5. 議事の概要

(1) 近況報告

えふえむ草津で行っている取り組み等について、以下の通り報告を行った。

まずは放送免許の再交付についてです。近畿総合通信局は今年10月31日に5年間の放送免許が満了するコミュニティ放送局に対して、再免許申請の受付を行いました。えふえむ草津も同日に有効期間が満了する事から再免許の申請を行い、10月27日付で放送免許(無線局免許状)の交付を受けました。今回の交付により令和12年までの放送実施が認可された事になります。

なお再免許の交付にあたり、近畿総合通信局より放送法の規定及び放送事業者が自ら定めた番組基準の遵守等について、次の通り要請が行われました。

<主な要請事項>

(ア) 放送番組の編集及び放送に当たっては、放送法の規定及び自ら定めた番組基準を遵守し、真実・公平な報道等を通じて我が国の健全な民主主義の発達に資するとともに、豊かな放送文化の創造に寄与すること。

また、放送の公共性、社会的責務の重要性を深く認識し、放送に携わる者の放送倫理の向上に努めること。

(イ) 放送番組については、その制作過程を含め、人権及び児童・青少年に与える影響に十分配慮するとともに、関係法令を遵守すること。

(ウ) 放送番組の適正を図るに当たり、放送番組審議機関について、その機能が一層発揮されるよう、十分な開催回数の確保に努めること。また、放送番組審議会における議事概要を自社ウェブサイトにおいて公表する等、透明性の確保に積極的に取り組むこと。

(エ) 非常災害時における放送の果たすべき重要な役割に鑑み、また、激甚化・頻発化する自然災害の経験を踏まえ、地方公共団体との連携、Lアラートの活用等による地域に密着した災害・防災情報等の充実を図るとともに、放送施設の安全性・信頼性の向上に努めること。

えふえむ草津は今後とも、防災など安心・安全に関する情報や地域情報など、有益な情報をこれからもお届けして参ります。

今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

つづきまして、9月から11月にかけての主な取り組みは、次の通りです。

<令和7年9月～11月までの主な取り組み>

- ・ 9月28日 わた SHIGA 輝く国スポ 開会式取材(彦根市 平和堂 HATO スタジアム)
- ・ 10月11日 BKA ウェルカムデーにて子どもラジオ体験を実施(立命館大学びわこ・くさつキャンパス)
- ・ 10月18日 アートフェスタくさつ取材(草津市役所など)
- ・ 10月19日 ABCハウジング草津住宅公園にて子どもラジオ体験を実施
- ・ 10月26日 クサツハロウィン2025取材
- ・ 10月27日～29日 草津中学校 職場体験受け入れ
- ・ 11月5日～7日 新堂中学校 職場体験受け入れ

緊急割込み試験放送につきましては、１０月１７日に草津市役所危機管理課が、
１１月１７日にえふえむ草津が行いました。
また、１１月１２日には全国一斉情報伝達試験（Ｊアラート）を行いました。

以上、近況報告とさせていただきます。改めてとはなりますが、えふえむ草津では引き続き、防災や安全安心情報をはじめ、市民の皆さんのまちづくりや生活に役立つ情報を伝える放送局として事業展開を行って参ります。

（３）番組 「昭和歌謡 大全集」 について

１１月２１日に放送した 「昭和歌謡 大全集」 について、音源を聞いた上で審議に入った。

（えふえむ草津）

今年４月からスタートした、懐かしい昭和歌謡を楽しいトークと共にお届けする番組です。第１金曜と第３金曜の１３時から１４時の１時間、生放送でお送りしています。また、第２金曜と第４金曜の同じ時間帯に、前の週の再放送をお送りしています。パーソナリティは、安井裕子（第１週）、菅野らら（第３週）です。また、草津市内の各まちづくりセンターなどにリクエストボックスを設置させて頂き、投函されたリクエストも番組で紹介しています。

（番組に対する審議委員からの主な意見）

- 例えば「戦後」「昭和〇〇年代」のように、昭和の中でも更に分類を設け、その中での曲を放送とすると聴きやすい。その場合、トークの最初に「今日は昭和〇〇年代を取り上げます」などと入れると分かりやすい。
- 曲の解説が少し長く感じる。もう少し曲の量を多くしても良いのでは。
- 担当するパーソナリティによって違いがあるかもしれないが、それはそのままが良いと思う。
- 「その時代にどのような歌があったのか」といった紹介なのか、あるいは曲自体の紹介なのか、はっきりとした方が良い。
- 主に車でラジオを聴くので、もう少しさらっとした流れで、聴き流せるようにされるのが良いのでは。

（３）訂正または取消し放送の実施状況

特になし

【議事録の公表方法】

- ①当社玄関カウンターに設置（１２月１５日 ～）
- ②当社ホームページへの掲載（１２月１５日 ～）
- ③１２月１５日 ８：００～の「KUSATAU FRONT LINE」内で、番組審議会の内容を放送。